

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
観光専門課程	トラベル学科	夜・通信	256時数	160時数	
	鉄道サービス学科	夜・通信	288時数	160時数	
	ホテル学科	夜・通信	480時数	160時数	
	エアポート学科	夜・通信	320時数	160時数	
	グローバル語学学科	夜・通信	224時数	160時数	
	ブライダル学科	夜・通信	256時数	160時数	
	ビューティ学科	夜・通信	224時数	160時数	
	葬祭ディレクター学科	夜・通信	192時数	160時数	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表『 http://www.daikan.ac.jp 』

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表『<http://www.daikan.ac.jp>』

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学院教授（現職）	2018/4/1 ～ 2021/8/4	経営戦略の立案・ 助言
非常勤	株式会社取締役（現職）	2017/11/15 ～ 2022/4/1	ガバナンスの強化
非常勤	株式会社取締役（現職）	2017/11/15 ～ 2021/8/4	ガバナンスの強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>◆年度開始前に開催される「カリキュラム会議」及び「講師会」において学校長、学務責任者、学科長及び授業担当者間で2年間の教育計画に基づきカリキュラムを作成。各授業の指導方針、到達目標とその方法及び評価ポイント並びに基準のポイントを定めた後、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成、学科長に提出。必要に応じ学科長は授業担当者と修正を加え、決定内容を学校長・学務責任者に提出し承認を得る。</p> <p>◆年度開始前に在籍2年間の授業計画を策定するが、在学中の学習効果の度合いにより修正が必要な場合は、学科長及び授業担当者間で審議を行い、学校長・学務責任者の承認の上、随時修正を行う場合がある。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表『 http://www.daikan.ac.jp 』
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>◆各学年次、前期及び後期の期末に教科ごとに試験を実施、当該教科の出席状況及び授業態度などを総合的に考慮し、事前に定められた各教科の評価ポイントに基づき授業担当者が成績判定を行う。授業担当者の判定を学科長が確認し、最終的に学校長が承認をしたうえで単位認定を行う。</p> <p>◆上記の試験については、該当教科の特性に応じペーパー試験、実技試験、課題提出等を組み合わせて実施する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>◆成績評価は5段階で評価し、単位の認定を行う。 またGPAの評価はオリエンテーション時に学生に呈示し、その後保護者に郵送で報告を行う。</p> <p>◆成績は5段階で評価を行う。 A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席60%以上) E=不可(出席60%未満)</p> <p>◆GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換 A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出:(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)</p> <p>◆前期及び後期終了時に評価を実施し、学生全体の学習状況及び理解度の把握を行う。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表『http://www.daikan.ac.jp』</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>◆卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し卒業要件が決定される。</p> <p>◆卒業規定</p> <p>①学則に定める履修時間(卒業時1,920時数)を履修している事 ②学費を全納している事</p> <p>学生・保護者に対しては、入学時のオリエンテーションで通知し、ホームページでも公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表『http://www.daikan.ac.jp』</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 http://www.daikan.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 http://www.daikan.ac.jp
財産目録	ホームページにて公表 http://www.daikan.ac.jp
事業報告書	ホームページにて公表 http://www.daikan.ac.jp
監事による監査報告（書）	ホームページにて公表 http://www.daikan.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	トラベル学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 時間 単位時間／単位	1024 単位時間	896 単位時間	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1920 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		99人	14人	2人	19人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）◆年度開始前に開催される「カリキュラム会議」及び「講師会」において学校長、学務責任者、学科長及び授業担当者間で2年間の教育計画に基づきカリキュラムを作成。各授業の指導方針、到達目標とその方法及び評価ポイント並びに基準のポイントを定めた後、授業担当者が授業計画書（シラバス）を作成、学科長に提出。必要に応じ学科長は授業担当者と修正を加え、決定内容を学校長・学務責任者に提出し承認を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）◆各学年次、前期及び後期の期末に教科ごとに試験を実施、当該教科の出席状況及び授業態度などを総合的に考慮し、事前に定められた各教科の評価ポイントに基づき授業担当者が成績判定を行う。授業担当者の判定を学科長が確認し、最終的に学校長が承認をしたうえで単位認定を行う。 ◆上記の試験については、該当教科の特性に応じペーパー試験、実技試験、課題提出等を組み合わせて実施する。
卒業・進級の認定基準
（概要）◆卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し卒業要件が決定される。 ◆卒業規定 ①学則に定める履修時間（卒業時 1,920 時数）を履修している事 ②学費を全納している事 学生・保護者に対しては、入学時のオリエンテーションで通知し、ホームページでも公表している。
学修支援等
（概要） ◆成績が低調の学生に対し、半期ごとに補講を実施している。 ◆出席率向上の為、担任・学科長によるカウンセリングを実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	1人 (3.0%)	32人 (96.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 旅行業／添乗員派遣業ほか (株)日本旅行、(株)阪急交通社、JR 東海ツアーズ、JCB トラベル、南海国際旅行 JTBメディアリテリング等			
（就職指導内容） 1年次担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界・職種を明確にし、企業研究を行い エントリーシート作成、面接練習などを繰り返し試験対策を実施する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ●国内旅行業務取扱管理者（33.5%）●総合旅行業務取扱管理者（15.7%）●国内旅程 管理主任者（100%）●総合旅程管理主任者（100%）●AXESSオペレーション検定（73.8%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	4人	4.4%
（中途退学の主な理由） 経済的事情、進路変更、学業不振による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ◆学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ◆担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者との連携 ◆進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	鉄道サービス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 時間 単位時間/単位	992 単位時間	192 単位時間	736 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		242人	0人	3人	25人	28人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) ◆年度開始前に開催される「カリキュラム会議」及び「講師会」において学校長、学務責任者、学科長及び授業担当者間で2年間の教育計画に基づきカリキュラムを作成。各授業の指導方針、到達目標とその方法及び評価ポイント並びに基準のポイントを定めた後、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成、学科長に提出。必要に応じ学科長は授業担当者と修正を加え、決定内容を学校長・学務責任者に提出し承認を得る。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) ◆各学年次、前期及び後期の期末に教科ごとに試験を実施、当該教科の出席状況及び授業態度などを総合的に考慮し、事前に定められた各教科の評価ポイントに基づき授業担当者が成績判定を行う。授業担当者の判定を学科長が確認し、最終的に学校長が承認をしたうえで単位認定を行う。</p> <p>◆上記の試験については、該当教科の特性に応じペーパー試験、実技試験、課題提出等を組み合わせて実施する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) ◆卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し卒業要件が決定される。</p> <p>◆卒業規定</p> <p>①学則に定める履修時間(卒業時1,920時数)を履修している事</p> <p>②学費を全納している事</p> <p>学生・保護者に対しては、入学時のオリエンテーションで通知し、ホームページでも公表している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>◆成績が低調の学生に対し、半期ごとに補講を実施している。</p> <p>◆出席率向上の為、担任・学科長によるカウンセリングを実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
96人 (100%)	1人 (1.0%)	95人 (99.0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 鉄道業／鉄道関連事業／旅行業／ホテル業 西日本旅客鉄道、阪急電鉄、京阪電気鉄道、東海旅客鉄道、大阪市高速電気軌道 近畿日本鉄道ほか			
（就職指導内容） 1年次担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界・職種を明確にし、企業研究を行い エントリーシート作成、面接練習などを繰り返し試験対策を実施する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ●国内旅行業務取扱管理者（33.5%）●総合旅行業務取扱管理者（15.7%）●AXESSホ ーション検定（73.8%）●サービス介助士（100%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
215人	6人	2.8%
（中途退学の主な理由） 経済的事業、進路変更、学業不振による 精神的疾患が一部にみられる		
（中退防止・中退者支援のための取組） ◆学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ◆担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者との連携 ◆進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ホテル学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 時間 単位時間/単位	1024 単位時間	896 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		106人	9人	2人	14人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) ◆年度開始前に開催される「カリキュラム会議」及び「講師会」において学校長、学務責任者、学科長及び授業担当者間で2年間の教育計画に基づきカリキュラムを作成。各授業の指導方針、到達目標とその方法及び評価ポイント並びに基準のポイントを定めた後、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成、学科長に提出。必要に応じ学科長は授業担当者と修正を加え、決定内容を学校長・学務責任者に提出し承認を得る。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) ◆各学年次、前期及び後期の期末に教科ごとに試験を実施、当該教科の出席状況及び授業態度などを総合的に考慮し、事前に定められた各教科の評価ポイントに基づき授業担当者が成績判定を行う。授業担当者の判定を学科長が確認し、最終的に学校長が承認をしたうえで単位認定を行う。</p> <p>◆上記の試験については、該当教科の特性に応じペーパー試験、実技試験、課題提出等を組み合わせて実施する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) ◆卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し卒業要件が決定される。</p> <p>◆卒業規定</p> <p>①学則に定める履修時間(卒業時1,920時数)を履修している事</p> <p>②学費を全納している事</p> <p>学生・保護者に対しては、入学時のオリエンテーションで通知し、ホームページでも公表している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>◆成績が低調の学生に対し、半期ごとに補講を実施している。</p> <p>◆出席率向上の為、担任・学科長によるカウンセリングを実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
52人 (100%)	0人 (0%)	52人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ホテル業 帝国ホテル大阪、阪急阪神ホテルズ、ホテルユニバーサルポート、 ザ・リッツカールトン大阪、ハイアットリージェンシー大阪ほか			
（就職指導内容） 1年次担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界・職種を明確にし、企業研究を行い エントリーシート作成、面接練習などを繰り返し試験対策を実施する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ●ホテル実務技能認定試験（66.7%） ●実用英語技能検定（44.7%） ●ビジネス能力検 定ジョブパス試験（79.7%） ●観光英語検定（63.0%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
108人	4人	3.7%
（中途退学の主な理由） 経済的事情、進路変更、学業不振による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ◆学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ◆担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者との連携 ◆進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	エアポート学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 時間 単位時間/単位	1178 単位時間	単位時間 /単位	742 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		49人	10人	2人	15人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) ◆年度開始前に開催される「カリキュラム会議」及び「講師会」において学校長、学務責任者、学科長及び授業担当者間で2年間の教育計画に基づきカリキュラムを作成。各授業の指導方針、到達目標とその方法及び評価ポイント並びに基準のポイントを定めた後、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成、学科長に提出。必要に応じ学科長は授業担当者と修正を加え、決定内容を学校長・学務責任者に提出し承認を得る。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) ◆各学年次、前期及び後期の期末に教科ごとに試験を実施、当該教科の出席状況及び授業態度などを総合的に考慮し、事前に定められた各教科の評価ポイントに基づき授業担当者が成績判定を行う。授業担当者の判定を学科長が確認し、最終的に学校長が承認をしたうえで単位認定を行う。</p> <p>◆上記の試験については、該当教科の特性に応じペーパー試験、実技試験、課題提出等を組み合わせて実施する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) ◆卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し卒業要件が決定される。</p> <p>◆卒業規定</p> <p>①学則に定める履修時間(卒業時1,920時数)を履修している事</p> <p>②学費を全納している事</p> <p>学生・保護者に対しては、入学時のオリエンテーションで通知し、ホームページでも公表している。</p>
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 航空業／航空関連業／ホテル業／旅行業 JAL スカイ大阪、ANA 大阪空港、ANA 関西空港、ANA 成田エアポートサービス、 Kスカイほか			
（就職指導内容） 1年次担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界・職種を明確にし、企業研究を行い エントリーシート作成、面接練習などを繰り返し試験対策を実施する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ●実用英語技能検定（44.7%） ●TOEIC（500～650点） ●AXESSオペレーション検定（73.8%） ●サービス介助士（100%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48人	1人	2.1%
（中途退学の主な理由） 経済的事情、進路変更、学業不振による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ◆学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ◆担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者との連携 ◆進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	グローバル語学学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 時間 単位時間/単位	896 単位時間	128 単位時間	448 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		59人	2人	2人	16人	18人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) ◆年度開始前に開催される「カリキュラム会議」及び「講師会」において学校長、学務責任者、学科長及び授業担当者間で2年間の教育計画に基づきカリキュラムを作成。各授業の指導方針、到達目標とその方法及び評価ポイント並びに基準のポイントを定めた後、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成、学科長に提出。必要に応じ学科長は授業担当者と修正を加え、決定内容を学校長・学務責任者に提出し承認を得る。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) ◆各学年次、前期及び後期の期末に教科ごとに試験を実施、当該教科の出席状況及び授業態度などを総合的に考慮し、事前に定められた各教科の評価ポイントに基づき授業担当者が成績判定を行う。授業担当者の判定を学科長が確認し、最終的に学校長が承認をしたうえで単位認定を行う。</p> <p>◆上記の試験については、該当教科の特性に応じペーパー試験、実技試験、課題提出等を組み合わせて実施する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) ◆卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し卒業要件が決定される。</p> <p>◆卒業規定</p> <p>①学則に定める履修時間(卒業時1,920時数)を履修している事</p> <p>②学費を全納している事</p> <p>学生・保護者に対しては、入学時のオリエンテーションで通知し、ホームページでも公表している。</p>
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ホテル業／航空業／旅行業 ウェスティンホテル大阪、スイスホテル南海大阪、ザ・リッツカールトン大阪 CKTSほか			
（就職指導内容） 1年次担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界・職種を明確にし、企業研究を行いエントリーシート作成、面接練習などを繰り返し試験対策を実施する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ●実用英語技能検定（44.7%） ●TOEIC（500～650点） ●手話技能検定（72.2%） ●韓国語能力試験（68.3%） ●中国語検定（80.7%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ◆学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ◆担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者との連携 ◆進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ブライダル学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 時間 単位時間/単位	704 単位時間	448 単位時間	768 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		72人	0人	3人	25人	28人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) ◆年度開始前に開催される「カリキュラム会議」及び「講師会」において学校長、学務責任者、学科長及び授業担当者間で2年間の教育計画に基づきカリキュラムを作成。各授業の指導方針、到達目標とその方法及び評価ポイント並びに基準のポイントを定めた後、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成、学科長に提出。必要に応じ学科長は授業担当者と修正を加え、決定内容を学校長・学務責任者に提出し承認を得る。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) ◆各学年次、前期及び後期の期末に教科ごとに試験を実施、当該教科の出席状況及び授業態度などを総合的に考慮し、事前に定められた各教科の評価ポイントに基づき授業担当者が成績判定を行う。授業担当者の判定を学科長が確認し、最終的に学校長が承認をしたうえで単位認定を行う。</p> <p>◆上記の試験については、該当教科の特性に応じペーパー試験、実技試験、課題提出等を組み合わせて実施する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) ◆卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し卒業要件が決定される。</p> <p>◆卒業規定</p> <p>①学則に定める履修時間(卒業時1,920時数)を履修している事</p> <p>②学費を全納している事</p> <p>学生・保護者に対しては、入学時のオリエンテーションで通知し、ホームページでも公表している。</p>
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	36人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ブライダル業／ブライダル関連業 エスクリ、レック、プラン・ドウ・シー、アルビオン、リーガロイヤルホテルほか			
（就職指導内容） 1年次担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界・職種を明確にし、企業研究を行いエントリーシート作成、面接練習などを繰り返し試験対策を実施する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ●アシスタントブライダルコーディネーター検定（66.9%） ●パーソナルカウナラー検定（92.3%） ●フォーマルスペシャリスト検定（78.2%） ●サービス接客検定（62.0%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76人	3人	3.9%
（中途退学の主な理由） 経済的事情、進路変更、学業不振による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ◆学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ◆担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者との連携 ◆進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ビューティ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 時間 単位時間/単位	864 単位時間	224 単位時間	832 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		20人	1人	2人	14人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ◆年度開始前に開催される「カリキュラム会議」及び「講師会」において学校長、学務責任者、学科長及び授業担当者間で2年間の教育計画に基づきカリキュラムを作成。各授業の指導方針、到達目標とその方法及び評価ポイント並びに基準のポイントを定めた後、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成、学科長に提出。必要に応じ学科長は授業担当者と修正を加え、決定内容を学校長・学務責任者に提出し承認を得る。
成績評価の基準・方法
(概要) ◆各学年次、前期及び後期の期末に教科ごとに試験を実施、当該教科の出席状況及び授業態度などを総合的に考慮し、事前に定められた各教科の評価ポイントに基づき授業担当者が成績判定を行う。授業担当者の判定を学科長が確認し、最終的に学校長が承認をしたうえで単位認定を行う。 ◆上記の試験については、該当教科の特性に応じペーパー試験、実技試験、課題提出等を組み合わせて実施する。
卒業・進級の認定基準
(概要) ◆卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し卒業要件が決定される。 ◆卒業規定 ①学則に定める履修時間(卒業時1,920時数)を履修している事 ②学費を全納している事 学生・保護者に対しては、入学時のオリエンテーションで通知し、ホームページでも公表している。
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） エステサロン／化粧品関連業／美容関連業 コーセー化粧品、DHC、資生堂、ビー・イーほか			
（就職指導内容） 1年次担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界・職種を明確にし、企業研究を行いエントリーシート作成、面接練習などを繰り返し試験対策を実施する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ●パーソナルカバリスト検定（92.3%） ●JNECネイリスト技能検定（92.3%） ●JNAジェルネイル技能検定（100%） ●日本化粧品検定（100%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	1人	4.8%
（中途退学の主な理由） 経済的事情、進路変更、学業不振による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ◆学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ◆担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者との連携 ◆進級時奨学金による経済的サポート		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	葬祭ディクター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 時間 単位時間/単位	1088 単位時間	224 単位時間	608 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		25人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) ◆年度開始前に開催される「カリキュラム会議」及び「講師会」において学校長、学務責任者、学科長及び授業担当者間で2年間の教育計画に基づきカリキュラムを作成。各授業の指導方針、到達目標とその方法及び評価ポイント並びに基準のポイントを定めた後、授業担当者が授業計画書(シラバス)を作成、学科長に提出。必要に応じ学科長は授業担当者と修正を加え、決定内容を学校長・学務責任者に提出し承認を得る。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) ◆各学年次、前期及び後期の期末に教科ごとに試験を実施、当該教科の出席状況及び授業態度などを総合的に考慮し、事前に定められた各教科の評価ポイントに基づき授業担当者が成績判定を行う。授業担当者の判定を学科長が確認し、最終的に学校長が承認をしたうえで単位認定を行う。</p> <p>◆上記の試験については、該当教科の特性に応じペーパー試験、実技試験、課題提出等を組み合わせて実施する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) ◆卒業認定方針について、毎年度開始前に開催される「カリキュラム会議」において各学科の特性、各業界で必要とされる知識及びスキルを考慮し卒業要件が決定される。</p> <p>◆卒業規定</p> <p>①学則に定める履修時間(卒業時1,920時数)を履修している事</p> <p>②学費を全納している事</p> <p>学生・保護者に対しては、入学時のオリエンテーションで通知し、ホームページでも公表している。</p>
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 葬祭業／葬祭関連業／園芸業 日本セレモニー、平安、第一園芸、ヤシロほか			
（就職指導内容） 1年次担任ゼミ・就職ゼミの授業において希望業界・職種を明確にし、企業研究を行いエントリーシート作成、面接練習などを繰り返し試験対策を実施する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ●パーソナリティ検定（92.3%） ●きもの文化検定（76.6%） ●未生流中山文甫免状（100%） ●硬筆書写技能検定（88.3%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ◆学生相談室を設置し、心理カウンセラーによる心のケア ◆担任教員による日々の学生状況・出席状況の把握と保護者との連携 ◆進級時奨学金による経済的サポート		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
トラベル	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
鉄道	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
ホテル	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
エアポート	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
グローバル	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
ブライダル	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
ビューティ	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
葬祭ディレクター	160,000 円	880,000 円	220,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.daikan.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校自己評価や日常の学校教育に対するの評価・意見内容を教育活動面と学校運営面に分別し、学務・広報・事務の三位の各部門で運営方針に照らし協議・検討する。 その結果、授業内容に取り入れたり、改善・修正を要するとした場合は、各部門から責任者会議に具体的な稟議提案を上申し、最終的判断をすることによって、学校関係者評価の効果的な活用を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社東京ビジネス	H31. 4. 1～R5. 3. 31	企業等委員
東方典礼カトリック教会	H31. 4. 1～R5. 3. 31	企業等委員
イブミカード株式会社 トラベル事業部	H31. 4. 1～R5. 3. 31	企業等委員
北条鉄道株式会社	H31. 4. 1～R5. 3. 31	企業等委員
スイスホテル大阪南海株式会社	H31. 4. 1～R5. 3. 31	企業等委員
ハイアットリージェンシー大阪	H31. 4. 1～R5. 3. 31	企業等委員
株式会社 夢現社	H31. 4. 1～R5. 3. 31	企業等委員
株式会社 創英	H31. 4. 1～R5. 3. 31	卒業生保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.daikan.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.daikan.ac.jp
